

藤沢市環境保全職員率先実行計画の令和 5 年度年次報告について

藤沢市環境保全職員率先実行計画は、本市が一事業者として義務付けられている市の事務及び事業における温室効果ガス排出量の削減等に係る計画であり、本市が率先的な役割を果たすことで、市域全体の削減に寄与することを目的としています。

1 藤沢市環境保全職員率先実行計画の年次報告

(1) 削減目標

2030 年度における温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 56%削減

(2) 実施結果

■エネルギー別温室効果ガス排出量の基準年度（2013 年度）との比較（単位：t-CO₂、%）

対象項目	2013 年度	2021 年度	基準 年度比 (%)	2022 年度	基準 年度比 (%)	2023 年度	基準 年度比 (%)	2030 年度	残削減数	
エネルギー	電気	40,998	28,645	-30.1	28,107	-31.4	24,097	-41.2	18,203	5,894
	都市ガス	9,699	11,143	+14.9	10,969	+13.1	10,582	+9.1	4,306	6,276
	LPG	332	375	+13.0	384	+15.7	322	-3.0	147	175
	LNG	0.8	4	+500.0	0	-100.0	0	-100.0	0.4	-
	ガソリン	478	452	-5.4	501	+4.8	496	+3.8	212	284
	軽油	536	590	+10.1	590	+10.1	584	+9.0	238	346
	A 重油	118	85	-28.0	87	-26.3	86	-27.1	53	33
	灯油	127	52	-59.1	46	-63.8	47	-63.0	57	-
合計	52,288	41,316	-20.9	40,684	-22.2	36,214	-30.7	23,216	13,008	
合計に占める電気の割合	78.4		69.3		69.1		66.6		-	

2 主な増減要因

(1) 電気

市民病院における入院患者数や病床利用率上昇に伴う空調利用の増加、及び下水の適正処理に伴う送風機設備利用等の増加分を、市内の道路・公園照明灯での E S C O 事業を活用した L E D 化工事の実施による減少分が上回り、全体の電力使用量は減少した。

(2) 都市ガス以下その他

L P G は、都市ガス利用への切替えにより減少した。また、灯油については、一部施設における冬季の暖房器具の使用頻度が増加したことにより増加した。

以 上